開講年度	令和7年度	開講期間	後期	
科目名		物理学		
担当教員	東秀孝			
学年	1年 学科 理学			
単位数	2単位	時間数	30時間	
授業の概要	理学療法士に必要な物理学に関連する知識を得る			
学習目標	医療の中で、無関係に思える物理は、実は何気なく使っています。科学的根拠を持って考えることができるよう、物理で理解していきます。			
授業計画	1. 運動の表し方 2. 運動の法則 3. 仕事の力学的エネルギー 4. 運動量の保存 5. 円運動と万有引力 6. 熱と物質 7. 波の性質 8. 音 9. 光 10. 電場 11. 電流 12. 電流と磁場 13. 電磁誘導と電磁波 14. 粒子性・波動性 15. 原子核と素粒子			
教科書	『視覚でとらえるフォトサイエンス物理図録』【著】数研出版編集部 (数研出版)			
参考書	資料			
評価方法	出席状況、レポート提出、授業態度、筆記試験			
備考	物理は取っ付きにくいかもしれませんが、実際に使っていることが多く、物理を理解すれば様々な現象がわかりやすくなります。			

開講年度	令和7年度	開講期間	後期		
科目名	心理学				
担当教員	石原 金由				
学年	1年 学科 作業・理学				
単位数	2単位	時間数	30時間		
授業の概要	本授業では、心理学の基礎的な理論や研究成果を概論的に学び、人間の心と行動の 仕組みを理解する力を養います。知覚や記憶、学習、感情、動機づけなどの心理過程 に加え、人格や社会的行動についても幅広く取り上げます。講義や身近な事例を通じ て自己理解と他者理解を深め、専門分野や日常生活に活かせる心理学的視点を育成 します。				
学習目標	1.「心のしくみ」について学び、心のメカニズムに関する基本的な知識を習得する。 2.「心と適応」について学び、環境に適応していくうえで、心がどのように機能して いるか理解する。				
授業計画	1. 心理学とは 2. 行動の生物学的基礎(1) 3. 行動の生物学的基礎(2) 4. 学習(1) 5. 学習(2) 6. 記憶(1) 7. 記憶(2) 8. 心の発達(1) 9. 心の発達(2) 10. 欲求と適応(1) 11. 欲求と適応(2) 12. 脳と心(1) 13. 脳と心(2) 14. 脳と心(3) 15. 試験				
教科書	『はじめて出会う心理学』 【著】長谷川寿一・東條正城・大島尚・丹野義彦・廣中直行 (有斐閣アルマ)				
参考書	図書館にある心理学に関する蔵書				
評価方法	〇出席を含めた平常の授業態度 〇受講中に課す提出物 〇期末試験またはレポート				
備考	授業で紹介する文献・書籍は、機会があれば読んでおくことが望ましい。				

開講年度	令和7年度	開講期間	通年(後期)		
科目名	Į	里学療法セミナー	-		
担当教員		伊吹 太郎			
学年	1年	学科	理学		
単位数	4単位	時間数	60(30)時間		
授業の概要	体力トレーニング検定3級合格を目指す				
学習目標	前期で学んだ運動貴兄の構造と機能の知識を生かし、ストレングス&コンディショニングの基本的知識を身に着ける				
授業計画	16. 筋骨格系の構造と機能の復習① 17. 筋骨格系の構造と機能の復習② 18. 筋骨格系の構造と機能の復習③ 19. 解剖生理・バイオメカニクス① 20. 解剖生理・バイオメカニクス② 21. 栄養① 22. 栄養② 23. トレーニング① 24. トレーニング② 25. トレーニング③ 26. トレーニング④ 27. ケア 28. その他 29. まとめ 30. 3級検定試験				
教科書	特になし、講義資料を配布				
参考書	体力トレーニング検定3級問題集				
評価方法	授業態度、出席率、問題集より抜粋した問題を小テストとして行い評価 体力レーニング検定3級試験結果も考慮する				
備考	体カトレーニング検定3級の合格を目指して学習していきます 検定料として別途2,000円 徴収させていただきます				

開講年度	令和7年度	開講期間	通年(後期)		
科目名	脳	神経系の構造と	幾能		
担当教員		伊吹 太郎			
学年	1年 学科 理学				
単位数	4単位	時間数	60(30)時間		
授業の概要	脳神経系の構造と機能について学ぶ				
学習目標	脳神経系の構造と機能に関する知識を学び、リハビリテーション医学・医療を習得する上で活用できるようにする。				
授業計画	16. 小脳 17. 脊髄の構造 18. 脊髄神経(神経叢)① 19. 脊髄神経(神経叢)② 20. 自律神経① 21. 自律神経② 22. 感覚機能(受容器) 23. 感覚機能(伝導路) 24. 錐体路① 25. 錐体路② 26. 錐体路③ 27. 脊髄反射① 28. 脊髄反射② 29. 錐体外路 30. 国家試験対策				
教科書	『カラー図解 人体の正常構造と機能【全10巻縮刷版】<第3版>』 【編】坂井建雄、河原克雅 (日本医事新報社) 『病気がみえる〈vol.7〉脳・神経』 【著】医療情報科学研究所 (メディックメディア)				
参考書	『カラー人体解剖学 構造と機能・ミクロからマクロまで』【著】F.Hマティーニ 他 (西村書店) 『イラスト解剖学』【著】松村譲兒 (中外医学社) 『系統看護学講座 専門基礎分野 解剖生理学 靱帯の有象と機能「1」』 【著】坂井健雄 他 (医学書院)				
評価方法	出席状況、授業態度、筆記試験				
備考	この科目は実務経験のある教員による授業科目である。 理学療法士として一般急性期病院のリハビリテーション業務に携わる(15年間)。				

開講年度	令和7年度	開講期間	通年(後期)		
科目名	運動	助器系の構造と機	·····································		
担当教員	辰己 大二				
学年	1年 学科 理学				
単位数	4単位	時間数	60(30)時間		
授業の概要	講義を通して身体の使い方、動作を細分化し理解を深める。				
学習目標	運動器系の構造と機能を理解する。				
授業計画	16. 股関節の運動学① 17. 股関節の運動学② 18. 膝関節の運動学② 20. 足関節・足部の運動学① 21. 足関節・足部の運動学② 22. 脊柱・体幹の運動学① 23. 脊柱・体幹の運動学② 24. 脊柱・体幹の運動学③ 25. 顎関節・顔面の運動学① 26. 姿勢 27. 歩行① 28. 歩行② 29. 運動学習 30. まとめ				
教科書	『基礎運動学』【著】中村隆一、斉藤宏、長崎浩 (医歯薬出版) 『理学療法・作業療法テキスト 運動学』【著】石川朗 他 (中山書店) 『からだがみえる 人体の構造と機能』【著】医療情報科学研究所 (メディックメディア)				
参考書	『筋骨格器系のキネシオロジー』【著】Donald A. Neumann (医歯薬出版) 『プロが教える筋肉のしくみ・はたらきパーフェクト事典』【著】荒川裕志 (ナツメ社) 『プロメテウス コアアトラス』【著】坂井 建雄 (医学書院) 『新・徒手筋力検査法』【著】Helen J. Hislop/Jacqueline Montgomery (協同医書出版)				
評価方法	期末試験×0,9+出席点10点(出席に応じて0~10点)を1/2にして前期の点数と 合算の上、通年の総合成績を出す。				
備考	この科目は実務経験のある教員による授業科目である。 理学療法士として病院、クリニック、デイサービスのリハビリテーション業務に携わる(21年間)。				

開講年度	令和7年度	開講期間	通年(後期)	
科目名	運動器系の構造と機能Ⅱ			
担当教員	辰己 大二			
学年	1年	学科	理学	
単位数	8単位	時間数	120(60)時間	
授業の概要	各名称の構造と機能を理解し評価・理学療法技術につなげる			
学習目標	【概要】 運動器系の構造と機能の復習。 【目標】 スケッチ・確認テストにより、解剖学を理解する。			
授業計画	31. 股関節の屈曲・伸展① 32. 股関節の屈曲・伸展② 33. 股関節の屈曲・伸展③ 34. 股関節の屈曲・伸展③ 34. 股関節の外転・内転・外旋・内 35. 股関節の外転・内転・外旋・内 36. 股関節の外転・内転・外旋・内 37. 股関節の正曲・伸展・外旋・内 39. 膝関節の屈曲・伸展・外旋・内 40. 膝関節の屈曲・伸展・外旋・内 41. 膝関節の正曲・伸展・外旋・内 41. 足関節・足部の筋② 44. 足関節・足部の筋③ 45. 足関節・足部の筋④	47. 足関節 48. 足関節 49. 頭頭頸 50. 頭頭頸 51. 頭頭頸 52. 胸頸 52. 胸郭 53. 胸郭 54. 胸郭 56. 後期 57. 後期 59. 後期	市・足部の筋⑤ 市・足部の筋⑥ 市・足部のまとめ 部・体幹の筋① 部・体幹の筋② 部・体幹の筋③ 部・体幹の筋3 部・体幹の筋3 部・体幹の筋3 の筋まとめ 呼吸)の筋2 呼吸)の筋まとめ り総復習② り総復習③ り総復習③ り総復習④	
教科書	『基礎運動学』【著】中村隆一、斉藤宏、長崎浩 (医歯薬出版) 『プロが教える筋肉のしくみ・はたらきパーフェクト事典』【著】荒川裕志 (ナツメ社) 『PT・OT基礎から学ぶ運動学ノート』【著】中島雅美 (医歯薬出版株式会社) 『プロメテウス 解剖学コアアトラス』【著】坂井 建雄 (医学書院)			
参考書	『カラー人体解剖学-構造と機能・ミクロからマクロまで』 【著】F.H.マティーニ M.J.ティモンズ M.P.マッキンリ (西村書店) 『分担解剖学1 骨・靭帯・筋』【著】森於菟 他 (金原出版) 『新・徒手筋力検査法』【著】Helen J. Hislop Jacqueline Montgomer (協同医書出版)			
評価方法	小テスト、期末試験×0,9+出席点10点(出席に応じて0~10点)を1/2にして前期の点数と 合算の上、通年の総合成績を出す。			
備考	この科目は実務経験のある教員による授業科目である。 理学療法士として病院、クリニック、デイサービスのリハビリテーション業務に携わる(21年間)。			

開講年度	令和7年度	開講期間	通年(後期)
科目名	解剖生理学		
担当教員	岩月	宏彦 ・伊吹 太郎	
学年	1年	学科	理学
単位数	8単位	時間数	120(60)時間
授業の概要	消化器系・泌尿器系・皮膚・感覚器・内分泌系・生殖器系・ヒトの発生について、構造と 能の視点から取り扱う。		
学習目標	本科目の後期講義では前期に続き、消化器・泌尿器・皮膚・感覚器・内分泌器・生殖器の構造と機能を理解する。これにより、人体が正常に生活を営むために、様々な器官系がうまく統合されて働いていることを知る。更に、本科目は決して難しい教科ではなく、人体を"かたち"と"働き"という二つの面から眺めるという楽しい学問であることを知り、様々な生命現象を模式図を用いながら説明できる能力を習得する。		
	31. 消化器系-1∶栄養素、口腔、咽頭、	食道、胃(岩月) 32.	31. の復習(伊吹)
	33. 消化器系-2:小腸、大腸、膵臓(岩月) 34		33. の復習(伊吹)
	35. 消化器系-3:肝臓、胆嚢、腹膜と間膜(岩月)		35. の復習(伊吹)
	37. 泌尿器系-1:腎臓、尿路(岩月) (37. の復習(伊吹)
	39. 泌尿器系-2:尿の生成、腎臓の内分泌機能(岩月) 4		39. の復習(伊吹)
	41. 皮膚-1:皮膚の構造、毛、脂腺、爪(岩月)		41. の復習(伊吹)
	43. 皮膚-2:皮膚の機能、覚醒・睡眠と	脳波(岩月) 44.	43. の復習(伊吹)
授業計画	45. 感覚器-1:眼の発生と構造(岩月)	45. の復習(伊吹)	
	47. 感覚器-2:眼の機能、耳の発生、耳の構造(岩月)		47. の復習(伊吹)
	49. 市メオスタシス、 内分泌腺(岩月) 5		49. の復習(伊吹)
			51. の復習(伊吹)
	53. 内分泌系-3:血糖値の調節、血中Ca∺濃度の調節、 53. 血圧の維持(岩月)		53. の復習(伊吹)
	55. 生殖器系-1:減数分裂、男性生殖器、精子形成(岩月) 5		55. の復習(伊吹)
	57. 生殖器系-2:女性生殖器、月経、妊娠(岩月) 58		57. の復習(伊吹)
	59. ヒトの発生: 受精から胎児まで(岩)	月) 60.	59 の復習(伊吹)
	 『系統看護学講座 専門基礎分野		
教科書 	 『解剖生理学ワークブック』【著】 	【著】坂井健雄 坂井健雄・岡田隆夫 (医学	··岡田隆夫 (医学書院) 李書院)
参考書	必要に応じてプリントを配布		
評価方法	期末試験		
備考	岩月のメールアドレス : hirohiko-iwatsuki@ae.auone-net.jp (何時でも質問可)		

開講年度	令和7年度	開講期間	後期		
科目名	IJ'n	ドリテーション医	療		
担当教員	江草	江草 俊樹 ・ 熊野 巴之			
学年	1年 学科 理学				
単位数	2単位	時間数	30時間		
授業の概要	リハビリテーションにおけるセラピストの役割と臨床に必要なる基本的内容を学習する。				
学習目標	リハビリテーション医学・医療の基礎的事項を知り、各論的に、リハビリテーション医学の 適応疾患についてその概要を学ぶ。				
授業計画	1. 画像① 2. 画像② 3. リスク管理① 4. リスク管理② 5. リスク管理③ 6. 装具・住宅改修① 7. 装具・住宅改修② 8. 車椅子① 9. 車椅子② 10. 廃用症候群・老年症候群① 11. 廃用症候群・老年症候群② 12. 脳血管障害① 13. 脳血管障害② 14. 脳血管障害③ 15. まとめ				
教科書	『PT・OTビジュアルテキスト専門基礎 リハビリテーション医学』【監修】安保雅博(羊土社)				
参考書	随時、発信します。 脳血管障害に関しては、『病気がみえ ディックメディア)		2版』【編】医療情報科学研究所(メ		
評価方法	出席状況と期末試験によって総合的に評価する。				
備考	リハビリテーション医学の定義や歴史、評価法、多職種連携、リハビリテーション治療の実際的な内容を説明。				

開講年度	令和7年度	開講期間	通年(後期)		
科目名		理学療法概論			
担当教員		三吉 舞子			
学年	1年	学科	理学		
単位数	2単位	時間数	60(30)時間		
授業の概要	理学療法として必要な資質やリス	理学療法として必要な資質やリスク管理について学ぶ。			
学習目標	理学療法の歴史や概念を学び、医療福祉、社会の中での理学療法の位置づけを知る。また、理学療法士として必要な資質や情報管理を学び、専門職としての目標をもつことを目標とする。				
授業計画	16. 理学療法士の職能 17. 標準予防策 18. 標準予防策 19. リスク管理 20. QOLとADL 21. 医療保険 22. 介護保険 23. 理学療法教育 24. 理学療法教育 25. 臨床実習・卒後教育 26. 理学療法研究 27. EBPTの実践と臨床的推論 28. 医療面接 30. まとめ				
教科書	使用しない				
参考書					
評価方法	筆記試験				
備考					

開講年度	令和7年度	開講期間	通年(後期)	
科目名	基	礎理学療法学 I		
担当教員	信原 遼			
学年	1年	学科	理学	
単位数	2単位	時間数	60(30)時間	
授業の概要	実際に身体を触れることで筋の起始・停止、走行の理解を深める			
学習目標	触診はセラピストの重要な基本的技術の一つであり、解剖・運動・病態生理・理学療法学などの理論・知識を基礎とし、評価と治療を進めるうえで不可欠である。基本的な触診技術を習得すると同時に、骨・筋・その他の軟部組織などの名称、部位及び位置関係を認識する。			
授業計画	係を認識する。 16. 肩甲上腕関節に関わる筋 17. 肩甲上腕関節に関わる筋 18. 肩甲上腕関節に関わる筋 19. 肘関節に関わる筋 20. 肘関節に関わる筋 21. 肘関節に関わる筋 22. 肘関節に関わる筋 23. 手関節および手指に関わる筋 24. 手関節および手指に関わる筋 25. 股関節に関わる筋 26. 股関節に関わる筋 27. 膝関節に関わる筋 28. 膝関節に関わる筋 29. 足関節に関わる筋 30. まとめ			
教科書	『運動療法のための機能解剖学的触診術 上肢』【監】青木隆明 (メジカルビュー社) 『運動療法のための機能解剖学的触診術 下肢・体幹』【監】青木隆明 (メジカルビュー社)			
参考書	『運動療法のための機能解剖学的制 『運動療法のための機能解剖学的制			
評価方法	出席状況、授業態度、筆記試験			
備考	実際に体を触れ理解を深める授業です。Tシャツ・短パンなど、なるべく肌を露出できる服装で受講して下さい。講義の順序は入れ替わることがあります。また、講義の回数・時間割の変更もあり得ますので、よく確認して出席日数に気をつけて下さい。			

開講年度	令和7年度	開講期間	通年(後期)	
科目名		理学療法管理学		
担当教員		三吉 舞子		
学年	1年	学科	理学	
単位数	2単位	時間数	60(30)時間	
授業の概要	病院・施設などの管理・運営、またリスク管理について学ぶ。			
学習目標	マネジメントについて学習することで、危機を防ぐマネジメント能力を身につける。 病院・施設・在宅などでの対象者に対する課題の把握とリスク管理やマネジメントについて理解できる。 職場内のマネジメントについて理解できる。			
授業計画	16. リハビリテーションにおけるリスク管理の必要性と対策 17. 合併症予防のための情報収集 18. リスク管理に必要な検査の知識① 19. リスク管理に必要な検査の知識② 20. 状態変化時の対応 21. 安全管理・推進のためのガイドライン 22. リハビリテーション中に起きた医療事故と法的責任 23. 診療ガイドラインと法的責任 24. 医師不在の環境での対応 25. 疾患別のリハビリテーションマネジメント①(脳卒中) 26. 疾患別のリハビリテーションマネジメント②(運動器疾患) 27. 疾患別のリハビリテーションマネジメント③(循環器疾患) 28. 疾患別のリハビリテーションマネジメント④(呼吸器疾患) 29. 疾患別のリハビリテーションマネジメント⑥(糖尿病) 30. 疾患別のリハビリテーションマネジメント⑥(深部静脈血栓症)			
教科書	使用しない			
参考書	「リハビリテーションリスク管理ハンドブック」【編集】亀田メディカルセンター(MEDICALVIEW) 「リハビリテーション職種のマネジメント」【著】高木綾ー(CBR)			
評価方法	筆記試験			
備考				

開講年度	令和7年度	開講期間	通年(後期)		
科目名	理	 学療法評価学			
担当教員		信原 遼			
学年	1年	学科	理学		
単位数	1単位	時間数	60(30)時間		
授業の概要	理学療法士に必要な評価技術と知識をしる				
学習目標	実技体験を中心に行い、理学療法に必要な評価を理解する。				
授業計画	16. 片麻痺機能検査① 17. 片麻痺機能検査② 18. 筋緊張検査・協調性検査 19. 高次脳機能検査・知性、精神状態、失語・失認検査、注意力検査 20. 呼吸機能検査 21. 循環・代謝検査 22. 姿勢反射検査 23. 脳神経検査 24. 中間テスト 25. 関節可動域テスト演習 26. 関節可動域テスト 模擬試験① 27. 関節可動域テスト 模擬試験② 28. 徒手筋力検査演習 29. 徒手筋力検査 模擬試験① 30. 徒手筋力検査 模擬試験②				
教科書	『理学療法評価学』【著】松澤正 (金原出版) 『図解 理学療法検査・測定ガイド』【著】内山 靖 (文光堂) 『新・徒手筋力検査法』【著】Helen J. Hislop (共同医書出版社)				
参考書	『プロメテウス 解剖学コアアトラス』【著】坂井 建雄 (医学書院)				
評価方法	出席状況、授業態度、筆記試験				
備考					

開講年度	令和7年度	開講期間	通年(後期)
科目名	動作分析学		
担当教員	信原 遼		
学年	1年	学科	理学
単位数	2単位	時間数	60(30)時間
授業の概要	正常な起立・着座・歩行動作の知識を身につける		
学習目標	1. 正常姿勢・動作の理解 ①視覚・触覚を利用し,動作を再現・模倣することが出来る。 ②運動学を理解し、姿勢・動作を分析することが出来る。 ③動作介助の基本を理解する。 2. 脳血管障害の動作の大まかな理解		
授業計画	16. 前期の復習 17. 起立動作① 18. 起立動作② 19. 着座動作 20. 姿勢観察、分析(立位) 21. 17. ~ 20. 講のまとめ 単元テスト① 22. 歩行動作① 23. 歩行動作② 24. 歩行動作③ 25. 歩行動作④ 26. 22. ~ 25. 講のまとめ 単元テスト② 27. 脳血管障害の動作分析① 28. 脳血管障害の動作分析② 29. 脳血管障害の動作分析③ 30. 脳血管障害の動作分析④		
教科書	『動作分析 臨床活用講座―バイオメカニクスに基づく臨床推論の実践』 【著】石井慎一郎(メジカルビュー社)		
参考書	『姿勢と動作』【著】齋藤宏、矢谷令子、丸山仁司(メヂカルフレンド社) 『動作のメカニズムがよくわかる 実践!動作分析』【著】西森隆(医歯薬出版) 他、随時紹介します。		
評価方法	①単元テストに合格すること ②授業態度・課題への取り組み・レポート・出席状況等によって総合的に評価する。		
備考	理学療法士は、日常生活活動を営むために必要な基本姿勢動作に対して評価、治療 を行う専門職です。しっかり勉強をしていきましょう。		